

静けさの中に宿る、いのちの声

言葉にならない感情、
胸にそっと沈んだ不安、
ふとした瞬間に交差するまなざし、
動物が寄り添う気配がもたらす安心感。



アデリナ・プラドの写真は、
パリとベルサイユの光の中で「存在が発する小さな声」を確かに捉えています。

その静けさは、
オルセー美術館の印象派が描いた“柔らかな時間”や、
ルーヴル美術館の古典作品が表す“祈りと沈黙の美”と響き合い、
フランス芸術特有の“心をそっと支える力”を宿しています。

そしてプラドは、
「本当の芸術とは、人の心と体を再生へと導く力である」と確信しています。



写真家 アデリナ・プラド写真展

命の声 — 言葉のないつながり〜フランスから届いた手紙

鑑賞チケット 1, 500円 ※当日会場へお越しください

(売上の全額を NPO 法人や小児がんセンター等へ寄付)

会期：2026年3月26日(木) 15:00~18:00

会場：BUKATSUDO 神奈川県横浜市西区みなとみらい

2丁目2-1 横浜ランドマークタワー B1F

主催：声の窓 VoiceWindow お問い合わせ：080-4681-3329

後援：横浜市芸術文化振興財団 / 医療法人おひさま会

本展の写真ひとつひとつが、鑑賞者の心にそっと寄り添い、
“再び歩き出すための小さな光” となることを目指しています。

写真家 アデリナ プラド Adelina Prado

ニューヨークを活動拠点とする写真家。

2025年、フランス・パリにて開催された国際現代アートフェア、Art Shopping Carrousel du Louvre (GEMART) において、厳正な個人審査を経て正式に承認・招待を受ける。

2026年、ルーブル美術館内の文化的延長線上に位置する展示施設 Carrousel du Louvre にて、国際的な独立アーティストとして出展。

また、ヴェネツィア・ビエンナーレの会期と同時期に開催される、思想主導型の国際展覧プロジェクト「Anima Mundi」において、「RITUALS」セクションの一環として、

2026年5月20日から6月4日までヴェネツィアにて作品が展示される。

アメリカ、フランス、イタリア、ドイツなど各国において、写真芸術および教育活動を展開。感性と知性を融合させた独自の制作を通じ、「芸術と心の再生」をテーマに国際的な活動を続けている。

会期：2026年3月26日（木）開催時間：15時～18時

アデリナ・プラド写真展

命の声 — 言葉のないつながり～フランスから届いた手紙

鑑賞チケット：1,500円 ※当日会場へお越しください

（売上の全額をNPO法人や小児がんセンター等へ寄付）

会場：BUKATSUDO 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目2-1

横浜ランドマークタワー B1F

ACCESS

横浜ランドマークタワー地下1階、みなとみらい駅直結、桜木町駅より動く歩道で徒歩約5分

ワーク&コミュニティスペース BUKATSUDO.

みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩3分、JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分

主催：声の窓 VoiceWindow お問い合わせ：080-4681-3329

後援：横浜市芸術文化振興財団 / 医療法人おひさま会